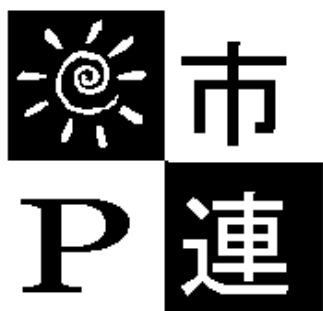




子どもたちの明るい未来のために

日立市立小・中学校PTA連合会



広報誌 第40号 情報委員会

～ も く じ ～

- | | |
|---------------|--------------------------|
| (1) 表紙 | (7) 日P全国大会三重大会参加報告 |
| (2) 会長挨拶 | 日P関東ブロック大会神奈川大会参加報告 |
| (3) 生涯学習委員会報告 | (8) 茨城県PTA振興大会表彰式典 受賞者紹介 |
| (4) 未来委員会報告 | (9) 寄稿「PTAとの連携について」 |
| (5) 情報委員会報告 | 日立市教育振興大会発表報告 |
| (6) 母親委員会報告 | |



平成25年度 日立市立小・中学校PTA連合会スローガン

共にがんばろう！ひたち



日立市立小・中学校PTA連合会 会長挨拶

会 長 志摩邦雄

あっという間に1年が過ぎようとしています。「共にがんばろう！ひたち」をスローガンに、団体として家庭の教育力、地域の教育力向上のために市内40校の会長さん、母親委員、そして幹事局員、事務局員等多くの皆さんのお力を借りながら活動してまいりました。

昨今の社会情勢の変化が家庭を直撃し、この4月からは消費税アップもあり、私たちを取り巻く環境は決して楽観できる状況ではありません。しかし、保護者として、大人として、子どもたちが安心して生活でき、子ども時代を謳歌できる環境を創っていくことは、私たちの大きな責任です。また、親として我が子の幸せを願うことは当然ですが、一人の幸せは多くの人たちの幸せの一部だと思います。私たち一人ひとりの幸福度を高めていき、それを横に、横につなげて地域全体の幸福度を高める。その過程で、子どもたちに幸せの種をたくさん蒔くことができるのではないかと思います。市P連の様々な事業活動を通して、多くの人や団体とつながり、私たちの幸福度を高められたらこんな素晴らしいことはありません。もし、PTA活動に満足されていない方がおられましたら、ぜひ一緒に活動しましょう。そこに幸福度を高めるヒントが必ずあると思うからです。

この後で、各委員長から活動報告がなされますが、それぞれの委員会で、厳しい環境にもかかわらず、全体のために精一杯の努力をしていただきました。私は、このメンバーと市P連の活動をがんばれていることに、大変幸せを感じております。心より感謝いたします。



H25年度 市P連メンバー



常任委員会

市 P 連 事 業 報 告

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ○ 5月11日 平成25年度定期総会 | ○ 11月 5日 第3回常任委員会 |
| ○ 5月14日 第1回役員会 | ○ 11月16日 日立市教育講演会 |
| ○ 6月 4日 第1回常任委員会 | ○ 12月11日 臨時役員会 |
| ○ 6月22日 第1回単P会長会議 | ○ 1月 8日 第5回役員会 |
| ○ 6月26日 第2回役員会 | ○ 1月21日 第4回常任委員会 |
| ○ 7月15日 第2回単P会長会議 | ○ 2月25日 第6回役員会 |
| (県北地区PTA指導者研修会) | ○ 2月26日 第3回単P会長会議 |
| ○ 9月 3日 第3回役員会 | <今後の予定> |
| ○ 9月10日 第2回常任委員会 | ○ 5月10日 平成26年度定期総会 |
| ○ 10月29日 第4回役員会 | |



生涯学習委員会 報告

委員長 竹山 広行

今年度、生涯学習委員会は16名のメンバーで「高めよう！コミュニケーション力」をテーマに掲げ活動してまいりました。

7月に開催された県北地区PTA指導者研修会では、生涯学習委員会が主体となり運営にあたりました。津軽三味線全国チャンピオンである十王中3年の高橋拓美さんの迫力ある素晴らしい演奏でオープニングを飾っていただき、基調講演では親業訓練インストラクター・安のり子先生に「我が子に愛を伝えていますか？」の演題で、どのようにして親から子どもへ愛情を伝えるかについて講演いただきました。講演での安先生の最後の一言「あなたの愛を、あなたの言葉で伝えてください」は、今も強く耳に残っています。子どもと向き合って言葉で伝えること、これは当たり前なのですが一番大切なことだと思います。基調講演終了後、13のグループでディスカッションを行い、親子・家庭のコミュニケーションについて話し合いました。各グループで様々な意見が飛び交い、また各単Pとの貴重な情報交換も行うことができました。

なかなかハードルの高い研修会の運営でしたが、研修会終了後、参加された方々から「よい研修会だった」「有意義な時間だった」などの声もいただき、開催してよかったと心から思える研修会となりました。運営に携わった方、みなさん同じ思いだったと思います。研修会終了後の懇親会は、今までに経験したことがないほどの大盛り上がりとなりました。

2月には第3回単P会長会議の主管にあたり、PTA活動、家庭、学校、他団体・地域の抱える課題について、小学校4グループ、中学校3グループでグループディスカッションを行いました。様々な課題が抽出され、さらには課題を解決した実践例もあり、今後の活動につながる重要な会議となりました。

1年間、生涯学習委員会のメンバーをはじめ、多くのみなさまにたくさんのご協力をいただき、コミュニケーション力を高めながら楽しく活動することができました。ありがとうございました。



親業訓練インストラクター 安先生の講演



県北地区PTA指導者研修会(第2回単P会長会議)の様子



活動状況

- 5月29日 第1回委員会
- 6月22日 第2回委員会
- 7月 3日 第3回委員会
- 7月15日 県北地区PTA指導者研修会
(第2回単P会長会議)
- 9月27日 臨時委員会
- 1月29日 第4回委員会
- 2月26日 第3回単P会長会議





未来委員会 報告

委員長 恩氏孝夫

今年度の未来委員会は、総勢17名のメンバーでの船出となりました。

主管事業である11月16日の教育講演会に向け、生涯学習・情報・母親の各委員会の常任委員にも加わっていただき、9月から延べ5回にわたる会合を繰り返してまいりました。

今年の講師は、イタリアのプロサッカー、セリエAのインテルに所属する長友佑都さんのお母様、長友りえさんをお迎えしました。常に明るいお母さん、どんな時もブレない、人のせいにしない、続けることの大切さ、失敗をだまってお守る等々たくさんのキーワードを使ってお話くださり、最終的にメンタルの強さ、人間力に尽きるとまとめていらっしゃいました。常にポジティブな受け答えをする長友選手のベースはここにあったのかと感心させられました。770名の聴衆の多くの方々が、家庭の中で我が子と接するヒントを持ち帰っていただけたのではないのでしょうか。今年の6月からワールドカップ・ブラジル大会が始まります。日本代表として活躍が期待される長友選手を、お母様の話を通してより身近な存在としてみんなで応援したいと思います。

この講演会の運営の面では、来場者のチケットを確認して会場ホールまで誘導する受付係と会場ホールに入って来た来場者をスムーズに着席まで導く会場係に分けて人員配置を行いました。準備から本番に至るまで全てのメンバーが自分のやるべきことを理解してくれたおかげで、ちょっとしたハプニングもその場で臨機応変に振舞って事を収めてくれました。この他、母親委員には託児受付、教育委員会指導課の皆様には来賓案内等を担っていただき、皆がそれぞれの役割を着実に果たし、文字通り市P連がひとつになって目標を達成できた瞬間だったと思います。私が年度当初に掲げたスローガン「一致団結、成功のゴールに向けて」を満たす1日でした。

1年間の活動を通して多くの出会いがあり、人脈を広げさせていただきました。これは私の一生の財産になると確信しております。皆々様のご協力のおかげで未来委員会をつつがなく運営できたことを心から感謝申し上げます。



長友選手を育てた夢を夢で終わらせない長友家の子育てがよくわかりました！



活動状況

- 6月22日 第1回委員会
- 9月24日 第2回委員会・第1回教育講演会運営委員会
- 11月 5日 第3回委員会・第2回教育講演会運営委員会
- 11月16日 教育講演会
- 12月 3日 第4回委員会・第3回教育講演会運営委員会
- 1月15日 第5回委員会



情報委員会 報告

委員長 志摩邦雄

今年度の情報委員会は、「情報と心の交流でつながろう！」をテーマに、13名のメンバーで活動してきました。

年間を通して、市P連ホームページ（以下、HP）の更新と管理について検討しました。効率的に更新作業を進めるために昨年度までの流れを踏襲し、HPの更新作業など技術面は外部に依頼。また、情報の迅速な共有化を目的に、試験的にブログを立ち上げ委員会内で検討しました。運用面での制度化など、実施には引き続き検討が必要です。

これまでHPのコンテンツは、役員会や他委員会で意見を挙げていましたが、今年度は当委員会でも検討しました。単P、特に会長さん達に役立つ様々な「PTAお役立ちツール」の充実が挙げられ、「運動会・体育祭PTA競技種目および携帯メール連絡網に関するアンケート調査」を実施しました。38校の単Pから回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。携帯メール連絡網は34校が導入しており、1校は検討中であり、活用が進んでいる現状が明らかになりました。25校が1種類の連絡網サービスを使用していました。今後は情報の共有化や一斉メールの内容等を検討できる場の提供ができれば、皆さんに喜んでいただけるのではないかと感じました。

広報誌「みらい」では、委員全員で構成や内容を検討し、市P連の活動の取りまとめや近年各単Pが取り組み素晴らしい成果が上がったものを紹介しました。それぞれの委員会での毎年の活動は、積み重ねと言うより継続が大切なことが分かります。1年1年学年が進行する中で、市P連としてもその年々の課題を出し合い、共有し、検討していく。それを継続していくことで、単Pや会長さん達を応援する活動につながったり、日立市全体で取り組む課題につながったりするだろうと感じました。ご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

初めての情報委員会活動でしたが、常任委員をはじめ幹事局や委員の方々に支えていただきました。皆さんと活動することで、私自身の世界が広がり、本当に楽しく取り組むことができました。ありがとうございました。



ホームページや広報誌についていろいろなアイデアが提案されました



活動状況

- 6月22日 第1回委員会
- 8月27日 第2回委員会
- 10月 9日 第3回委員会
- 11月30日 第4回委員会
- 2月12日 第5回委員会
- 3月 1日 広報誌みらい40号発行

日立市P連ホームページはお役立ち情報が満載！ぜひご覧ください！

“日立市P連”で検索ボタンをクリック！

URLはこちら ⇒ http://www.net1.jway.ne.jp/pta_info/



母親委員会 報告

委員長 鈴木美奈子

平成25年度、母親委員会では昨年度から提案している「お弁当の日」を継続事業として進めながら、全5回の委員会を開催しました。

百年塾講師でもある前田潤子さんのトールペイント講座や、助産師の伊藤きよみさんから「思春期の生と性」をテーマにした講話、今年度最後の委員会では、日立市教育委員会・中山俊恵教育長と委員全員での情報交換など、委員の皆さんには毎回お忙しい中でもお集まりいただき、楽しく有意義な時間となりました。

またその間にも、4市女性ネットワーク委員会合同研修会では助産師の内田美智子さん、県北地区女性ネットワーク委員会研修会では九州大学大学院助教の佐藤剛史さんの食育講演会に参加し、食育についてのお話を興味深く聞くことができました。子どもを取り巻く食環境は、私たち親世代の子ども時代とは大きく変化しています。たくさんの食材があり、とても豊かなようにも感じますが、それぞれの食事の内容は様々な偏食が溢れていて、豊かな食事とは言えない場合もあるようです。

「お弁当の日」を伝えるにつれ、そして今年度の食育講演会を聞いて、食事内容の他にもとても大切なことがあると思いました。「子どもたちが今日どんな食事をしたのか」を私たち親はちゃんと知っていなくてはならないということ。当たり前ようですが、それは、子どもたちに心を向けて見守っていなければならないことなのだと思います。

子どもたちが「ただいま！」と帰ってきて家で食事をする時間は、あとどれくらいなのでしょう。

この幸せな時間を大切にして、これからも日々の食事を作っていきたいと思います。今年度の活動へのご理解とご協力をありがとうございました。



初めての顔合わせで緊張…



和気あいあいとした委員会



命の重さ・大切さを実感！



活動状況

- 5月21日 第1回委員会
- 6月22日 第2回委員会
- 9月18日 第3回委員会
- 12月10日 第4回委員会
- 2月6日 第5回委員会



トールペイント作品

第61回日本PTA全国研究大会 三重大会 参加報告

とき 平成25年8月23日(金)～24(日)

幹事局長 勝山 起一



式年遷宮の年 伊勢神宮内宮にて

「みえに集えばきっと見える 三重からの「わ」～はじまりの地で語り育もう 子どもたちの未来～」をスローガンに掲げ、昭和28年に第1回大会が開催された三重県において、60年ぶりの開催となりました。原点である「子ども」「家庭」をしつかりと見つめ、「学校や地域との連携」「親子の絆」など、さま

ざまなテーマを全国から参加した約8,000人が議論を深めました。

初日は、第9分科会環境教育（志摩市阿児アリーナ）に参加しました。多森成子氏（気象予報士、三重テレビ気象キャスター）から、地球温暖化の進行と気候の変化による影響について現状と将来の見通し、私たちがこれからの暮らしの中でできること、「家での省エネ」「水を大切に使う」「車の使用は控える」など共に考えていくための基調講演がありました。

実践発表では、地域の環境を守り育んでいくという活動をPTAと子どもたちが一緒になって取り組んでいる報告がありました。学校では「教科」として位置づけのない「家庭教育（学習）」との関連を深め、これからの活動をどう展開していくのか、また、次世代を担う子どもたちにどう伝えどう育てていけばいいのか、さらに地域全体の活動へどう結びつけ発展させていけばいいのかを考え、志摩市立立神小学校PTAの発表が印象的でした。立神小PTAの取り組みは、地元で真珠養殖をしている方々が地場産業を知ってもらおうと企画し、海の環境問題を勉強しながら真珠養殖を体験するものです。子どもたちは、春から英虞湾のプランクトンやヘドロ等の勉強し、6月に核入れ作業、夏には貝掃除をし、年末には珠出し作業となります。核入れしたあこや貝には死んでいる貝や核が抜け出してしまった貝、ちゃんと真珠層が巻いてない貝もあり、真珠になっていた貝は一部のようなのでした。子どもたちは真珠が出てくるたびに「入った！」と嬉しそうにしていたとのことのお話が印象的でした。

このような取り組みは、子どもたちと地域の人がつなぐ産業と自然環境の学習であり、子どもたちと地域を育てて行くのだと感じました。我々の地域でも、地域の活性化、将来を担う人材育成を地域全体で考え、協力して育てていければと考えさせられました。

その後、居酒屋「てっぺん」創業者でNPO法人「居酒屋甲子園」初代理事長の大嶋啓介氏の講演がありました。脳科学の見地から「ワクワクしているとき、人は輝く」という話をされました。大嶋氏によれば、ほとんどの人は「自分はできない、自分はダメだ」という考えを持っているが、その考えの全てが勘違いによるものであり、その勘違いを是正して「自分もいつかできる！やれる！」という考えを持つことで、どんどん良い方向に自分を変えていくことができるそうです。子どもたちに「次は何ができるようになるだろう？」とワクワク感を持たせることが大切なことだと学びました。経営する居酒屋で働く人たちが、朝礼で自分の夢や目標を語ることで成長し、輝いていく様子を編集した映像を用いて「人は変わる」「夢を持つことは輝く」ことを熱く語ってくださいました。

大嶋氏の講演は、とても感動的でした。子どもたちのためにまだ頑張ろう！毎日を有意義に誠実に生きて行かなければならない！という気持ちが湧いてきた貴重な体験でした。



県北地区PTAの仲間たち

第45回日本PTA関東ブロック研究大会 神奈川大会 参加報告

とき 平成25年10月26日(土)～27(日)

久慈中学校PTA会長 鴨志田 征央

今回の神奈川大会は、開港160周年を迎えた開国の地、横須賀で開催されました。

茨P連から115名、日立市P連からは7名の参加があり、「かながわ学舎(まなびや)～開国の地から新しい風を～」というスローガンのもと、日頃経験のできない貴重なお話を聞かせていただきました。

1日目は、第1分科会(情報モラル)に参加し、「情報社会を生きる子どもたちを守るために大人ができること」という研究テーマで茨P連の研究発表を聞きました。最近、問題になっているIT端末による事象、子どもたちが被害者にも加害者にも成りえる危険性について、横須賀P連ケータイ・インターネット安全委員の方のお話を交え勉強させていただきました。情報化社会の中であまりにも変化するスピードの速さに戸惑いを覚えたとともに、分からないではすまされない問題だなと痛感いたしました。端末の操作方法等、親子で勉強する機会を作ってみようと思いました。記念講演として、宮本延春(みやもとまさはる)先生の「オール1の落ちこぼれ、教師になる」というお話を聞かせていただきました。不遇の少年時代から成績はオール1、幸せとは言えない生活の中からもあきらめないことの大切さを教えていただきました。

2日目は横須賀芸術劇場で行われた全体会記念講演に参加しました、ザ・ニューズペーパーの社会風刺コントで大爆笑してしまいました。

今回の大会は、昨年に続き2回目の参加でしたが、子どもたちと一緒に学ぶことの大切さ、変化していく柔軟さ、あきらめないことの素晴らしさを感じることができる大会でした。

平成25年度

茨城県PTA振興大会表彰式典

とき 平成25年11月30日(土)

場所 三の丸ホテル(水戸市)

受賞おめでとうございます



茨城県PTA連絡協議会 会長表彰(団体)

日立市立大沼小学校PTA

茨城県PTA連絡協議会 会長表彰(個人)

薄井 啓司さん(日立市P連 前会長)

田所 英子さん

(県北P連 全女性ネットワーク委員会副委員)

茨城県PTA連絡協議会 会長表彰(永年功労)

佐藤 光徳さん(平沢中学校PTA 会長)

熊崎 浩人さん(助川中学校父母と先生の会 前会長)

第34回全国小・中学校PTA広報紙コンクール

社団法人日本PTA全国協議会 奨励賞

大久保小学校父母と先生の会 「おおくぼ」

大みか小学校PTA 「大みか」

多賀中学校PTA 「たが」

第21回茨城県PTA広報紙コンクール 入選

大久保中学校PTA 「暇修」



PTAとの連携について

日立市教頭会 会長 川和 宏

学校におけるPTA活動は、子どもたちを中心にして、保護者が主体となって家庭・学校・地域をつなぐ教育活動を活性化させる役割を担っている。そのため、家庭と学校だけでなく、地域を巻き込み保護者・教師・地域が一体となることが大切である。

PTAの活動の目的は、児童生徒の健全な成長を図ることであり「すべては子どもたちの笑顔のために」を前提として活動することである。その活動すべてが子どもたちへ、地域へとつながっていくものだ考える。学校は、授業参観及び懇談会、親子学習会等の行事があるが、授業参観における参加者は残念ながら少なく、教師側（学校側）の考えがうまく保護者に伝わらない現状がある。

PTAとの連携を考える上で、大事なことは、保護者が、教師が、地域が、子どもたち一人ひとりのために何ができるかを考え、今できることをすぐ実践することである。

お互いがパートナーシップを持ち協力していこうという思いが、保護者を、学校を、地域をさらに良くしていくのだと考える。そこで、多忙な中でも互いに時間をみだし、連携を深めることを通して「笑顔あふれる子どもたちの活動」につなげていきたい。



日立市教育振興大会 発表報告

大みか小学校PTA副会長 鈴木喜子
西名和美

8月19日（月）日立市教育振興大会で発表しました「お弁当の日」の取り組みや、本校PTA活動の一部をご紹介します。

大みか小学校は市の南部に位置し、今年度創立40年を迎えました。「やさしく・さとく・たくましく」の校訓を目標に、全校児童が元気に過ごしております。

PTA活動では、組織改革を進めながら各委員会が活発に活動しており、昨年末には茨城県PTA広報紙コンクールにて表彰をいただきました。また試行期間を経て、一昨年度より「大みか小学校携帯メール連絡網」を運用し、緊急時や学校行事の連絡のみでなく、会員向けのアンケートにも活用しています。

本校では24年度の事業として、「お弁当の日」を弁当持参の学校公開日に実施することを決め、PTA本部内での啓蒙活動や講演会DVDの上映会等の準備期間を経て、先生方のご協力のもと実施することができました。今後も継続事業とし、一度限りの経験で終わらせないために児童用の記録用紙を用意し、作った感想やお弁当の写真を貼ってもらいました。また記録用紙はPTA本部で6年間保存し、卒業時に成長を喜ぶお祝いの一つとして、冊子にして子どもたちに渡したいと考えています。

今後も様々なアプローチを通して、「できることから始めよう」という呼びかけを行い、子どもたちの自立の一助となれればと願っています。今回の発表にご協力いただいた関係者の皆様へ感謝を申し上げます。

編集後記

この度の広報誌の発行にあたり、多くの皆さまに多大なご支援・ご協力をいただきました。

情報委員一同、心より感謝申し上げます。

（情報委員会）